

## アジア大洋州医師会連合（CMAAO）の活動

### （1）CMAAO 台北総会

CMAAO 台北総会（2020 年 9 月開催予定）は、新型コロナウイルス感染症の影響により 1 年延期され、2021 年 9 月 2 日、3 日にかけてオンライン会議として開催された。

初日の理事会では、冒頭、故 K.K. アガラワル第 37 代 CMAAO 会長（インド医師会元会長、新型コロナウイルス感染症により同年 5 月逝去）への黙祷が行われた。役員改選では、議長にシンガポール医師会イエ・ウェイ・チョン前理事、副議長にマレーシア医師会カー・チャイ・コー次期会長、財務担当役員にアルビン・イー・シン・チャン香港医師会前副会長が再選された。また、事務総長に橋本常任理事が、法律顧問に村田真一弁護士が再任された。議事では、前回議事録の承認、事務総長報告、財務報告、将来の総会開催地の確認等が行われた。

総会式典では、蔡英文台湾総統の他、世界医師会（WMA）からデビッド・バープ会長（アメリカ医師会）、フランク・ウルリッヒ・モントゴメリー理事会議長（ドイツ医師会）、オトマー・クロイバー事務総長から来賓祝辞が述べられた。新会長就任式では、第 38 代 CMAAO 会長（2021 - 2022 年）に台湾医師会邱泰源会長が就任した。

翌日の総会では、冒頭、賴清徳台湾副総統から来賓祝辞が述べられた。議事では、「新型病原体パンデミックの管理における共同作業に関する CMAAO 台北声明」が採択された。今後の総会の予定として、2022 年パキスタン、2023 年バングラデシュでの開催が確認された。

その他、加盟各国医師会によるカントリーレポート、COVID-19 対策、第 18 回武見太郎記念講演等を CMAAO ウェブサイトに掲載し、情報共有を行った。

日医のカントリーレポートでは、2021 年 9 月までの活動として、菅義偉内閣総理大臣（当時）や河野太郎ワクチン担当大臣（当時）をはじめとする政府関係者と、ワクチン接種推進に関する意見交換を行い、日本医師会として全面的に協力することを約束し、取り組んできたことを報告した。また、国民への情報発信として、定例記者会見を行い、感染の発生状況や今後の見通しを国民に分かりやすく伝えることに努め、YouTube 日本医師会公式チャンネルでは、国民向けの新型コロナウイルスワクチンに関する情報と、医療従事者向けの新型コロナワクチン接種時のアナフィラキシーへの対応を配信した他、厚生労働省と共催でウェビナーを開催したことを紹介した。さらに、新型コロナウイルス感染症対策に関して、「平時の医療の強化は有事の医療への備え、つまり、有事の医療の実力は平時の医療提供体制の余力」、「緊急事態宣言の発令は早めに、解除はゆっくり慎重に」、「徹底的な感染防止対策が結果として最強の経済対策が信念であり真理」、ワクチン接種については、「これまでの『守り』の闘いから『攻め』に転じるものとして、全国の医師会はあらゆるケースを想定しながら接種体制の構築に取り組む」、「地域医師会における好事例と課題を収集して好事例の展開をはかるとともに、ワクチンに関する精度の高い情報を『速報』として提供」、「困難が生じる場合は、日本医師会は全力で政府に必要な要請を行い、調整する」という日本医師会の考え方を説明した。

シンポジウムのテーマである「COVID-19 対策」では、新規感染者数と死者数等の推移と共に、蔓延防止措置、緊急事態宣言と国民に求められる事項について紹介した。また、ワクチン接種に関して、国内での接種に関する考え方と、日本政府が COVAX ファシリティの取り組みを全面的に支援すると共に、国内で製造したワクチンを海外に提供する予定であることを説明した。

## (2) プレスリリース

2022 年 3 月 2 日、ロシアによるウクライナへの侵攻を受け、「CMAAO の医師はロシアの指導者に医学的中立性の遵守を促す」という内容のプレスリリースを CMAAO ウェブサイトに掲載し、加盟各国医師会に送付した。プレスリリースでは、医療の中立性と人権の国際原則の尊重を強調する世界医師会（WMA）と欧州医師常設委員会（CPME）に共鳴し、ロシアの指導者に医療の中立の原則を遵守し、医療施設が軍事目標とならないようにすること、医師と医療従事者が患者に医療を提供することを妨げられないこと、患者と負傷者が医療に完全にアクセスできるようにすることを強く求めている。